



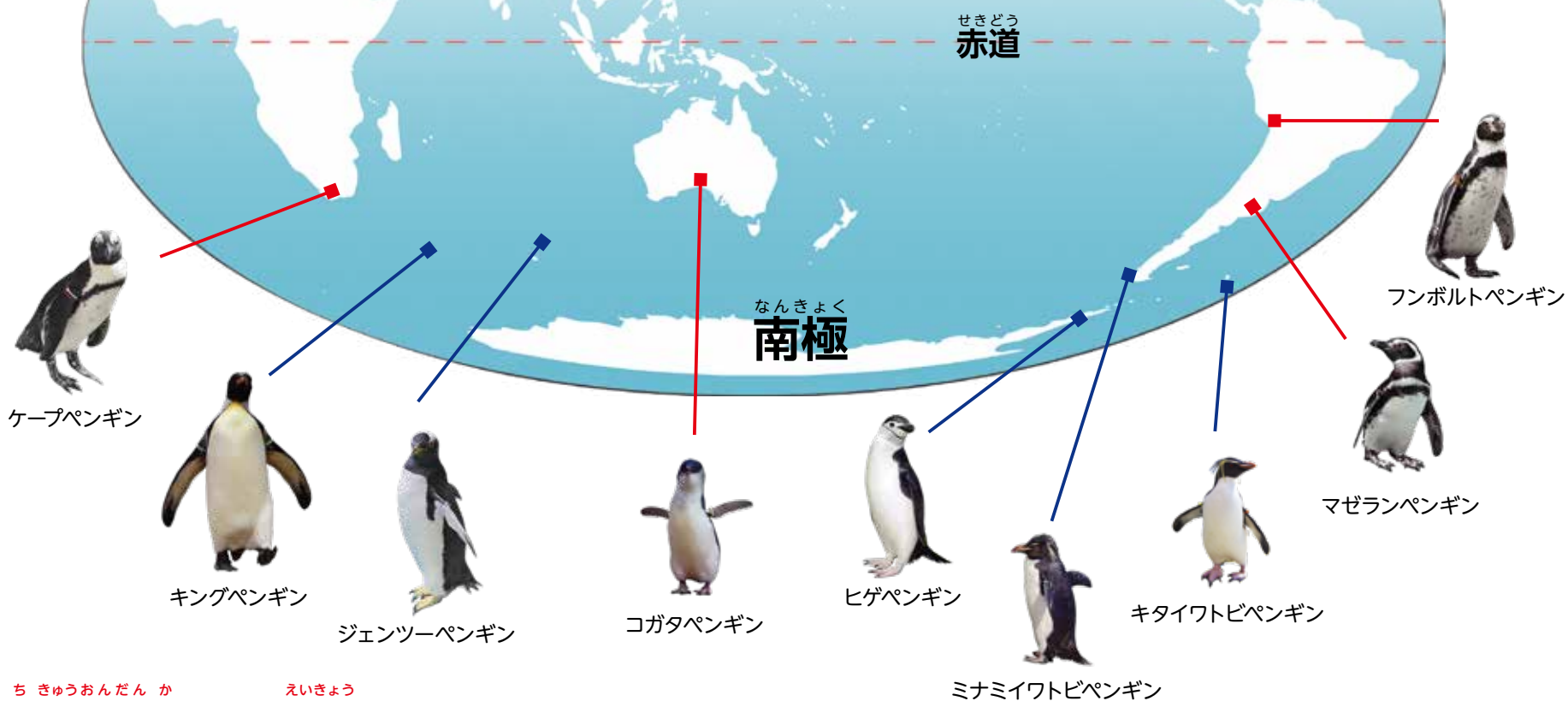
# ながさき 長崎ペンギン水族館 だより



## ペンギンと地球温暖化

ながさき すいぞくかん しゅるい く  
長崎ペンギン水族館には9種類のペンギンが暮らしています。

みなさんは、このペンギンたちの故郷がどこだか分かりますか？ペンギンたちの故郷は、南半球です。ペンギンといえば寒い所に住んでいるイメージがあるかもしれませんが、もちろん南極にいますが、他にも南米のチリやペルー・南アフリカ・オーストラリアなど南半球の広い範囲に生息しています。日本の水族館・動物園では、元気に暮らしているペンギンたちですが、野生のペンギンのなかには絶滅の恐れのある種類もあります。野生で数が減っている原因の一つに地球温暖化があります。地球温暖化の影響によって野生地が変わってしまうことがあります。ペンギンもその生きものの一つで、ペンギンは自然環境が良いかどうかを判断するバロメーターになる生きものとしても注目されています。ここでは、地球温暖化がペンギンたちにどのような影響があるのか紹介したいと思います。



### 地球温暖化による影響

**南極** 温度上昇

雪ではなく雨が降る。ヒナが濡れて弱ってしまう。

地面の氷が割れる。ペンギンが落ちてケガをする。

**オゾンホール**の破壊

紫外線が強くなると皮膚がんになる

**南米** エルニーニョ現象

海水温が高くなり、エサの魚がいなくなると子育てができない

野生のフンボルトペンギン(チリ)

### ペンギンたちは、環境に合わせて一生懸命生きている!!

水族館のペンギンたちは、安定した量のエサを食べ、安全な場所で子育てができます。

しかし、野生のペンギンたちはどうでしょうか？ペンギンたちが安心して生活できる環境を考えてみてください。

その環境を実現するには私たちはどのようにすればよいか、私たちにできることを考えてみよう！

この記事を書いた人：長崎ペンギン水族館 ペンギン担当 玉田 亮太



フンボルトペンギン



ジェンツーペンギン

水族館でくらすペンギンたち

長崎ペンギン水族館でペンギンを観察しよう！

